

第12回アフターレポート

おしゃべり えほんの会

今回のテーマ

「とことん語るいわさきちひろ」

於：平成30年11月9日（金）午前10時～11時半 四日市市立図書館 2階視聴覚ホール

「絵本の好きな人が集まり、絵本について気軽に話をしよう！」と始まったこの会も12回目となりました。今回は、2018年、生誕100年を迎えた画家、いわさきちひろさんの作品を取り上げ、『とことん語るいわさきちひろ』をテーマに開催しました。あいにくの雨で参加者は少なめでしたが、参加された方々のそれぞれの「いわさきちひろ」作品への熱い思いが伝わる素敵な会となりました。



【画家、絵本作家としてのちひろ】

今回、参加された皆さんは、「いわさきちひろ」について、絵本作家というより、挿絵や画家としてのイメージを強く持っておられるようでした。絵と文を担当した作品は少なく、『戦火の中の子どもたち』ぐらいではないかという意見が出ました。戦後、画家として生きていくことを決意したちひろが最初に手掛けた紙芝居作品、『おかあさんのはなし』についてもいろいろな意見や感想が出されました。初期の頃は、みなさんが思い描く「いわさきちひろ」の絵とは、ずいぶん印象がちがうことにも気づきました。その頃は、どちらかといえば商業主義的な絵も多かったようです。そのうちに、水墨画の技法を使った、にじむような独特のタッチの絵を描くようになり、「いわさきちひろ」独自の世界を作りあげていったことがわかりました。

「背景がないイメージと思っていたが、アンデルセン作品の挿絵のように、説明を必要とされるものには、背景が多く使われている」という意見もありました。描きたいものを思い描いたように描けるようになり、余白も多くなったのではないのでしょうか。



【子どもへのまなざし】

参加者の方、それぞれの印象に残っている作品として、『あめのひのおるすばん』『おやゆびひめ』『わたしがちいさかったときに』『トットちゃん』『たけくらべ』などが挙がりました。「やわらかいタッチで描かれた子どもたちの表情に触発されて、真似をしてスケッチをしたことがある」という参加者もみえました。戦後は、配色がそれまでとちがい、赤や青など色彩が印象的な作品も多く、『ぼちのきたうみ』など、海の鮮やかな色遣いの本を手にとる方もいました。まっすぐな目でこちらをみつめた子どもたちの、正面を向いた絵が印象深く、「この絵を見ていると悪いことができないのでは？」という意見も出ました。多くの子どもたちの絵は、どんな子どもにも不思議とあてはまる、性別を超えたかわいらしさがあります。戦後、間もなくから描かれたとは思えない、おしゃれで洗練された作品が多いこともわかりました。



【さらに楽しむために】

「いわさきちひろ」作品を読み聞かせに利用された方は少ないようです。「心に残る印象的な絵なので、読み聞かせにしてみてもいいのでは」という意見もでました。「安曇野ちひろ美術館や東京のちひろ美術館、福井の生家にも行ってみたい」という参加者もいました。また、息子の猛さんの奥さん・松本由里子さんが、以前、四日市で講演会をされたことや、孫でイラストレーター・絵本作家の松本春野さんの絵本についても話題がひろがりました。ちひろの絵が好きで、カレンダーを購入して楽しんでいる方もみえて、みなさん、お気に入りの一枚があるようでした。「一度にたくさんの作品が並び、とてもうれしかった」とのご意見も出ました。参加した全員で「いわさきちひろ」の世界を楽しむことができ、心豊かなひとときを過ごすことができました。

★話題になった本、参加者が気になった本★

- 『戦火のなかの子どもたち』 岩崎 ちひろ/作 (P イ) 岩崎書店
『いわさきちひろ・おはなしえほん春・夏・秋・冬』 立原えりか/文 いわさきちひろ/絵 (P イ) 講談社
『おにたのぼうし』 あまん きみこ/ぶん いわさき ちひろ/絵 (P イ) ポプラ社
『ゆきのひのたんじょうび』 岩崎 ちひろ/絵と文 武市八十雄/案 (P イ) 至光社
『ぼちのきたうみ』 岩崎 ちひろ/絵と文 武市八十雄/案 (P イ) 至光社
『あめのひのおるすばん』 岩崎 ちひろ/絵と文 武市八十雄/案 (P イ) 至光社
『絵のない絵本』 アンデルセン/作 いわさきちひろ/画(94) 童心社
『わたしがちいさかったときに』 長田新/〈原爆の子〉他より いわさきちひろ/画(916) 童心社
『窓ぎわのトットちゃん1・2』 黒柳徹子/文 いわさきちひろ/絵(914) 講談社
『ちひろメモリアル』 726.5/18 (平凡社)
『おかあさんのはなし』 アンデルセン/原作 いわさきちひろ/画 (K 才紙芝居) 童心社
『いわさきちひろ作品集4~6 (初期・中期・晩期童画集)』 (72) 岩崎書店
『おばあさんのしんぶん』 松本春野/絵と文 岩國哲人/原作 (P マ) 講談社
『ふくしまからきた子・そつぎょう』 松本春野・松本猛/作 松本春野/絵 (P マ) 岩崎書店

※参加者にお持ちいただいた本 「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」(同タイトル映画パンフレット)
「MOE2012年9月号」(いわさきちひろ特集号)